

## 第7期 第6回 荒川の将来を考える戸田市民会議・議事概要

- 日 時：平成23年2月17日（木）19：00～21：00
- 場 所：戸田市役所5階 大会議室A
- 参加者：（市民委員）作山議長、有馬委員、大石委員、石本委員、三浦委員、樋口委員、江口委員
- 事務局他：（行政委員）小島委員、豊田委員  
駒崎委員、新井委員、田中委員  
（事務局）戸田市都市整備部河川課：石橋主幹、竹内副主幹  
荒川下流河川事務所：調査課 信田課長、又吉係長、安田技官  
沿川再開発課 神宮寺課長、工務課 田島係長

### ●配付資料

#### 議事次第

- 資料1 第5回荒川市民会議代表者会議・議事要旨
- 資料2 第32回荒川の将来を考える協議会 決定事項（案）
- 資料3 戸田公園地区高規格堤防
- 資料4 荒川将来像計画2010 地区別計画【たたき台】戸田市版  
国土交通省関東地方東整備局記者発表資料
- 第7期 第4回 荒川の将来を考える戸田市民会議・議事概要（案）  
「さくら草」第207号（NPO法人戸田の川を考える会）

### ●議事

#### 1. 配付資料確認

配布した資料について確認を行いました。

#### 2. 報告事項

##### （1）荒川市民会議代表者会議 第5回（平成22年11月9日）

第5回荒川市民代表者会議について、事務局（荒下）より報告がありました。

##### （2）第32回荒川の将来を考える協議会 報告

第32回荒川の将来を考える協議会について、事務局（荒下）より説明がありました。

委 員：幹事市区は輪番制で回っているのか。

事務局：立候補がない場合は、各市区順番に幹事をお願いしている。

委 員：マラソンは、板橋区が事実上仕切るというかたちになるのか。

行政委員：いままでも板橋区が行っており、費用等も区が出しているため、前から板橋色が前面に出ているが、各市区にも報告している。

委 員：荒川に河川敷道路が全部通ったことを記念して始まったので、「荒川マラソン」のほうがいいと思う。いい行事として定着しており、費用もかかるが、われわれも3500円を出すので、利益も結構出る。

行政委員：前回は強風のため中止になって、赤字が出ているようだ。

### (3) 戸田地区スーパー堤防について

戸田地区スーパー堤防について、事務局（荒下）より説明がありました。

委員：現地を確認したところ、足を取られるほどのひびではなく、言われなければわからない。コンクリートの上に土を盛るため、土が馴染まないのは当たり前で、ある程度の沈みやずれは、あまり問題ではないのではないかと。あまりお金をかけず、整地するだけで済むのではないかと。

事務局：何か所かボーリングをしたが、空洞らしきものがある。その場所にセメントミルクなどを流し込んで塞ぐ対策案もあったが、不特定多数の方が使う場所のため、何かあってはいけないので、開削して入れ替えるのが一番間違いないだろうということになった。トンネルの下は地盤改良されているが、脇の部分が沈下を起こしている。トンネルがアーチ状のため、予期しない変則的な動きにより沈下したのではないかと。

委員：両側に膨らんだということか。

事務局：下に沈んだ。

委員：丸いコンクリートの上に土があるため、多少ずれるのはありうることである。

事務局：通常であれば下に下がるが、地盤改良をしていなかった北側が下がった。それによって、土が引っぱられたことになる。

委員：地盤改良は土手側しかしていないのか。

事務局：両方してあるが、トンネルの下をしてある。

委員：ああいう盛り方では、北側にずれていくことはありうる。ポートコース側に多少ずれても沈むため、理屈としてはわかる。

事務局：その場においても、土を盛ったことにより 50 センチ、60 センチと土が沈んでいる。ボーリングを試みたが土が締め固まっておき、これ以上は下がらないことがわかったため、この部分だけ掘削して入れ替える方法でやろうとしている。

委員：図面を見ただけでも、そういうことが生ずることはわかる。最初からわからなかったのか。

事務局：予期していないことで、わからなかった。

委員：設計上、こういう工事をやればそういうことは生ずる。説明があった工事をすると、同じことは二度とないのか。

事務局：なくなると思う。

委員：この工事は、どうにかたちによって、同じことが生じないようにするのか。

事務局：昔の地盤が圧密沈下で 70 センチ程度下がって、密度が濃くなっているため、これ以上は下がらないことがわかっている。

委員：これからまた、振動などで下がる恐れはあるだろう。横に這わせる何かをするなど、対策がなければ、また同じことが起きるのではないかと。

行政委員：今回の工事にあたっては、掘削をして下が緩んでいるかどうかを確認し、その上に、横に引っぱられたり滑らないように滑り止めのシートを入れ、補強して良質な土を入れ、丁寧に締め固めて万全の対策を行う予定である。

議長：シートを何枚も入れるか。

行政委員：計算上は 1 枚で済む予定だが、折り返すので 2 枚となるイメージである。

委員：厳しい財政でスーパー堤防の見直しの話もあるため、むだはないようお願いしたい。

議長：公園にするとき、この土は客土として使えるのか。県サイドで表面に客土をするのか。

事務局：整備する前にすると思うが、そこまで具体的な話はしていないが、来年度工事に入れるかどうかという話は、県のほうとしたい。

議長：客土の量も多いため、相当の予算がかかるのではないかと。

### 3. 討議事項

#### (1) 荒川将来像計画2010 地区別計画【たたき台】 戸田市版

荒川将来像計画2010地区別計画【たたき台】戸田市版について、事務局（市）より説明がありました。

議長：あくまでもたたき台で、議論して修正していくことができると考えていいか。

事務局：そうである。

議長：これをつくっているのはどの課か。

事務局：公園緑地課と河川課、荒川下流河川事務所の三者である。

行政委員：ほとんどが公園緑地課の意見になる。

議長：今回の計画は、9ページが地区別計画の主要な提案だという認識でいいか。

事務局：そうである。公園緑地課としては、彩湖・道満グリーンパークにかなりのエネルギーを使っているため、当分は下流域にお金と労力を入れることが難しい。いずれは戸田ヶ原再生事業の延伸や、上流域の取り組みが下流域にも当てはめられるかといった議論もしていただかなければならないのではないかと思いますので、それらも含め議論していただきたい。

議長：今期はこれが最後のため、いろいろな意見を出していただき、次期に継続ということか。時期的には、いつくらいまで時間をかけられるか。

事務局：今期で任期が終わり、8期になると新しい委員になる。次回は6月末から7月初めで開催予定である。

議長：地区別計画の検討は、次回1回程度で終わりか。

行政委員：1回意見を伺って、公園緑地課や荒下、河川課で実現できるかの検討は必要である。

事務局：荒下のスケジュールでは、来年度中には決めたいということである。

委員：市民会議とは別に、少し勉強会をしたらどうか。このメンバーに公園緑地課が来ていただければいいだろう。正式なものでなく、説明会のようなものをお願いしたい。

議長：戸田市と市民でもう少し議論すべきではないかということか。

委員：会議は2時間で決まっているため、そのほかに時間を取ったらどうか。

行政委員：河川課は水防訓練が終わるまでは難しい。

委員：河原でやるのか。

行政委員：例年どおり道満で行う。

事務局：昨年ヘリコプターが荒川に落ちたため、今年は県警にヘリをお願いしたが、難しいということだった。川口市、蕨市、戸田市で順番で行っているため、それなりの格好も付けたいことから、自衛隊をお願いしたらオッケーが出たので、現在調整している。いままで同じパターンで訓練をしてきたが、もう少し新しいかたちの訓練ができないかという取り組みを始めたため、時間がかかっている。

議長：それが終わったあとは可能性があるということか。そのあたりも含め、自由に意見をいただいて、仕組みも議論しないとまとまらないのではないか。未実施区間がこれほど長いのは戸田市がダントツで、何も手を付けていない状況である。他市区では予算がないなりにいろいろやっている。上流との関係もあるが、なぜやれなかったのかというPDCAの評価をしないうちに9ページの計画が出てくるのは順番が違うのではないか。土砂仮置き場が計画で自然再生がその次というのは、順番として逆だろう。また、いままでも全区間土砂仮置き場はいかかなものかという議論はあったが、それがまったく反映されていない。委員さんのご意見のように別の場所での議論があったほうがいいのではないか。荒川市民会議が始まって何年になるか。

事務局：14年になる。

議長：予算がないという説明はそろそろ使わず、検討もしていないので、行政側としても、なぜ14年間進まなかったのかを整理しなければ、また同じことになる。これはPDCAの評価になっていない。

委員：これを検討するにはそれほどのエネルギーはいらない。担当者が一人出ていただいて場所があればいい。戸田橋から笹目橋の間の土砂置き場にわれわれがある程度協力することは十分理解しているし、道満に財政もエネルギーを集中しているため、こちらに手を付けられない事情も理解しているが、検討もせずほったらかしにしておくのではないだろう。われわれも市民に説明できるような検討をしたい。第8期の委員と一緒に勉強してもらうことも兼ねて、水防訓練の前に日程をお願いしたい。

行政委員：公園緑地課と調整させていただきたい。

委員：われわれの勉強会で、地区別計画を理解する意味で3~4時間場所を提供していただくだけでいい。

議長：どこを重視するかも大事だが、同時に行うことも大事である。0か100かではなく、検討も含めて、この場所に手を付けなければいけないだろう。早めに自然保全地として回復することもあるのではないかという意見もあり、土砂仮置き場も部分的にお金をかけずに何かしていく検討もできないというのは、ありえないのではないか。

委員：予算などはわからないが、それを抜きにしてわれわれでも議論していくことはできるので、場所だけでも提供していただきたい。

議長：土砂置き場所が少ないので非常に助かっているが、全部が必要かどうかは別になる。スペースが足りないため、たくさんあればありがたいというのが実情である。

行政委員：土砂を置くには戸田市が一番交通が便利なのだろう。荒下は占用されていないところに土砂を一時仮置きして、持っていくのに非常に便利な土地として利用されているのではないか。堤内地で民間の土地を借りればすごい金額になる。

委員：国にはただで貸しているのか。

行政委員：もともと国の土地である。戸田市の公園は、国の占用許可を受けて借りているもので、戸田市の土地ではない。

委員：無料で借りているのか。

行政委員：占用許可をいただいている。

委員：国が悪いわけではないだろう。

行政委員：国は、治水のためにスーパー堤防をつくり、そのために河川敷を土砂仮置き場に利用している。

委員：そうすると、市の姿勢ということになるだろう。

議長：本来は自然地であることから、一部は残し、一部は整備すべきといったことをやらないと、今は何も計画がないので、全部を土砂仮置き場に使っても結構ですという姿勢が今まであったが、これからはいかなものか。

委員：立派なものだが、具体的なものがない。おそらく10年後も同じ状態で、成果がない状態になるのではないか。

委員：土砂仮置き場という使い方のほうがいいのではないか。ここを自然地にしても、すぐに水が上がるため難しい部分もあるだろう。

行政委員：戸田市の河川敷は細長いため、あまり利用価値がないのも実情である。

委員：昨年、笹目水門から笹目橋の間をきれいに土砂仮置き場を整地してくれた。

委員：1世帯あるが、そこだけ残して整地したのか。あの家だけどうしてあそこにあるのか。あそこだけを避けなければいけない何かがあるのか。不自然である。

委員：1軒残っているが、整備はしてくれた。またそこに土砂を置くのか、自然地とするのかは答えが出ていない。せっかくきれいにしてもらったのだから、議論したい。

議長：戸田の場合は花火大会もあるため、平地や土砂置き場的なスペースがあってもいいのではないかという意見もあった。そのとおりだとは思いますが、全部が土砂置き場である必要はなく、ゾーニングのボリュームの問題だろう。2市7区全体の議論では、自然的なスペースはこれ以上減らさない方向で、すべて土砂置き場とする場合、2市7区の中で足並みがそろわず、戸田市の区間だけが後退してくる。さらに、2市7区の中で戸田市だけが未整備区間が圧倒的に多く、何も手を付けていない。

委員：ここを自然地にとっても、あとの管理を考えると無理ではないか。

議長：それも含めて議論をすべきではないか。実際、他市区では全部やっており、手間がかからないような方法を研究されているし、市民管理でやっている事例も出てきている。

委員：ほかの土砂置き場をどうしているのかはわからないが、運んでいる土の層が全然違う。山がいくつもあるのは、土質が違うのを混ぜないためではないか。それであれば、相当なスペースが必要で、下流全体の土砂置き場の分布から見れば、戸田市が大きな貢献をしているとも言える。そういう評価もしていただきながら、もう少しわれわれで何かできないかを探りたいので、荒下の土砂置き場の全体分布を教えていただいて、どれくらい工事に役立っているかという位置付けもしてほしい。

行政委員：公園緑地課と相談したい。ただ、14ページで未実施になっているところには、自然地として整備することに疑問がある場所もある。戸田市は高水敷が少ないため、当初の案自体が大きすぎるという部分もある。

議長：それも含めた評価をしたうえでなければ、次にいけないだろう。その議論が足りない。

委員：最初に絵を描きすぎたのであれば、修正すればいい。

行政委員：高水敷の狭いところでは、低水護岸を切り込んでいくのは考えものだろう。

議長：その議論はいままでもしており、ワンドは必要ないだろうという常識的な話になっている。そのうえでどうするかだ。

委員：予定に自然観察園が仮称で書いてるが、荒下で蛇籠を入れたりしているため、水が出ても上がらない場所だと思う。自然観察園の予定地としては、スーパー堤防も近いため、条件的にはいいのではないか。

行政委員：昨年の台風のときはぎりぎりだった。船着き場の上は水が上がっていた。

委員：ここは土盛りがかなりされていたのではないか。

委員：きれいに整地して、計画の高さに戻してある。

委員：もともとここは大規模自然地だったため、放置しておけば元に戻るのではないか。委員が言うように一度でも機会を持っていただき、緑地課と河川課の人と話し合いの場が持てればと思う。

#### 4. 次回の開催日程

##### (1) 委員の募集・再任について

委員の募集・再任について、事務局（市）より説明がありました。また、委員の再任について、出席委員全員の確認をいただきました。

事務局：今回の会議で7期が終わるが、地区別計画の検討もあることから、皆様には引き続き第8期もお願いしたい。新たに、市民の募集を広報やホームページでしているが、問い合わせがお一人あっただけで、具体的には出てきていない。現在の市民委員が次期もお願いできるか、議長に確認していただきたい。本日欠席の方については、別途郵送でご案内したいと思っている。ご意見も伺ったので、次回の開催については公園緑地課と検討したい。正式な会議は6月末から7月初めころを考えている。

議長：数年をかけて全体の見直しをした基本的な考え方になるため、自然の部分を減らさない方向に戻っていただきたい。単純に変えるとなると、計画の齟齬が発生してしまうので、基本方針は大事にしてほしい。日程等はあとになるか。

事務局：またご案内させていただきたい。

#### 5. 情報提供

- 「大規模震災時における荒川の活用訓練を実施」の記者発表について、荒川下流河川事務所より、報告がありました。
- 委員より、「さくら草」および活動報告がありました。

委員：今年度末で荒川下流河川事務所が主導した「ルネッサンス2」という事業が終わるが、定めた目標の中で菖蒲川の水質がクリアできていない。データは3月末まで取るが、それが数値として出るのが秋になるため、最終報告は秋以降になるだろう。今後は、県と市、住民で菖蒲川の水質改善市民協議会で水質に限って継続したいと思っている。

議長：データが出た際は、ここでも報告していただきたい。

委員：4000人のアンケートを取ることで、現在原案を作成している。また、カラーのパンフレットを作成して皆さんにお配りするために編集中である。

議長：笹目川の水質は少しは改善したのか。

委員：笹目橋では、99%で下水が終わっているため、クリアしている。

行政委員：笹目川流域とさくら川流域では、ほとんど下水は終わっているが、上戸田川流域だけが終わっていない。

議長：そういう意味では、「ルネッサンス2」の効果は十分あった。菖蒲川は、また別に溜まっているような感じである。

委員：去年はアユが来て壮観だった。

委員：アユは汚いところでも上っていく。鴨川上流にも上っている。

委員：去年は死んだ魚も 100 匹ほどいた。生きたものを見ておきたい。ただ、戸田に来たアユは全部死ぬ運命にある。上戸田川の整備には 10 年か 15 年かかるが、その上流に産卵できる場所をつくりたい。来たこと自体がすごい事件なので、「ルネッサンス 2」の効果は 100 点満点と考えていいのではないかと。

議長：国の事業が終わるといっているのはどういうことか。

委員：事業予算が終わるとのことである。

議長：いままではそれを何に使っていたのか。ポンプの電気代などが、今後県と切り替わるのか。

行政委員：「ルネッサンス 2」全体の計画期間が終わる。その中に、国なり県、市の事業がいろいろ入っていた。それが一区切りする。

委員：大江戸線の下に導水管を出して上流に流しているが、あちらのほうは水質改善になっている。

議長：南北線。綾瀬川のほう。

委員：綾瀬川は相当アユがいる。

行政委員：菖蒲川も少しずつ改善傾向にある。

議長：グラフなどで目に見えるかたちで出してほしい。

委員：今度はそれが出てくる。

委員：合成洗剤を使用しなくなってきたため、水自体はきれいになってきている。

委員：水質改善ももちろんだが、菖蒲川に浮くごみも極端に少なくなった。一時は水面がごみで見えないほどだったが、いまは何十分の 1 くらいになっている。これは事業の最大の成果ではないか。

議長：水質を考えるうえで、昔泳いでいたころの写真などをたくさん集めた写真展などを開催したらどうか。河川課のほうで、そういう写真はあるか。

行政委員：水害の写真はあるが、そういうものはない。

議長：広報などに掲載される昔の写真は、郷土資料館にあるのか。

行政委員：郷土資料館に行けばあるかもしれない。もともと、戸田市の川はみんな農業用水である。農業用排水路から都市河川になってきた。

委員：鴨川の水質改善と荒川左岸の水環境処理センターをもう少し高処理化すれば、もう少し水質が良くなるのではないかと。

議長：いまの下水は何次処理か。

行政委員：現在は、7 系が高度処理する。

議長：全体ではないのか。

行政委員：部分的で、次は 8 系をやる。いままでは、委員が言われるように、放流水質としては BOD5 か 6 で、水質汚濁法はクリアしている。

議長：さらにそれを処理する計画はないのか。

行政委員：いまやっている系列はそういうものになっており、富栄養化でチッソとリンの除去をするようだが、全部で 8 系あるうちの 1 系がこれからできる。3 年後くらいに稼働させ、徐々に残っているのをやっていくことになる。

委員：その部分が改善されないと水がよくならないのであれば、秋ヶ瀬取水堰でたまに水を

流してもらうなどはできないのか。汚い水が下流に行ってしまうかもしれないが、川の自然を再生するにはそういうことしかないだろう。

行政委員：水利権がある。

委員：戸田の下水道は急ピッチでやっていて、あと 10 年やれば残りは数%になるそうなので、もう少しの我慢である。

委員：上流から 3 トンから 5 トンくらいしか流れていない。鴨川の水と処理センターの水しか流れていないので、水質改善ができるわけがない。

議長：先日、ボートコースで大きい魚が釣れたが、荒川のほうではどうか。

委員：ソウギョ、レンギョはいる。

議長：先日の代表者会議の中で漁業権のデータが出たが、限定的だったのか。

事務局：漁業権が設定されている場所は、鹿浜橋上流側から上流である。本日資料を持ってきていないが、四つの漁種について指定されている。

議長：下流では、シジミなどがある。

委員：河川敷の利用ルールは昨年 4 月から本格実施ということだが、戸田市にかかわる部分で具体的にお聞きするようなことはあるか。

事務局：利用ルールについて、どれくらい迷惑行為が確認できたかを紹介している。戸田市はバーベキューに関する迷惑行為が比較的多いが、8 件程度である。そのほかは犬のノーリードやゴルフがそれぞれ 5 件ずつである。

委員：ときどき学生のボートの練習が、商船にはじき飛ばされている。

議長：こちらが静かなため、土日の水上スキーも多い。

委員：バイクでパトロールもしているようだが、そこまで見ているかはわからない。

議長：戸田橋、笹目橋の間はボートの練習もするので、波が立って困っている。

委員：はじき飛ばされて、護岸にたたきつけられていることがある。あそこはスピードを落とすようになっていない。

議長：徐行区間である。

事務局：正確な資料が手元にないが、川の中の岸辺付近を動力船が通ってはいけないことになっているが、川の中央部は通っていいことになっていると思う。

委員：学生も承知して、来ると端に避けている。

行政委員：問題なのは、水上スキーとボートだろう。

議長：それでは第 8 期でもよろしくお願ひしたい。

以上